

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	津山市久米総合文化運動公園 市民プール施設
(2) 指定管理者	所在地 岡山県岡山市北区絵図町一番五〇号 名称 OSKグループ 代表者 株式会社 岡山スポーツ会館 代表取締役 江尻 博子
(3) 公の施設の所管部署	地域振興部 久米支所 地域振興課
(4) 指定期間	平成 31年 4月 1日 ~ 令和 6年 3月 31日
(5) 評価対象期間	令和 4年 4月 1日 ~ 令和 5年 3月 31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	52,556人 (前年度 39,563人)
(2) 事業の内容	<p>① 施設管理業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋内プール・トレーニングルームの運営・安全管理 開館時間 火曜日～土曜日 10:00～20:45 (20:30まで入場可) 日曜日 祝祭日 10:00～17:45 (17:45まで入場可) 12月28日～1月4日の休業日・および毎週月曜日を休館※7.8月を除く</li> <li>・屋外プールの運営・安全管理 (7.8月)</li> <li>・久米中学校水泳授業での施設利用</li> </ul> <p>② 自主事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども対象水泳教室 成人向け水泳教室</li> <li>・成人向けスタジオレッスン</li> <li>・春季、夏季短期水泳教室</li> <li>・レインボーチャレンジ (育成コース対象 記録会)</li> <li>・健康にまつわる各種体験会・測定会</li> <li>・各種イベント (コロナ禍で中止)</li> </ul>

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	<p>総額 59,757千円 (前年度 46,504千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用料金収入 9,947千円</li> <li>指定管理料 29,460千円</li> <li>自主事業収入 17,743千円</li> <li>その他の収入 2,607千円</li> </ul>
(2) 支出 (指定管理者の支出)	<p>総額 56,984千円 (前年度 46,506千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主な支出 人件費 21,933千円</li> <li>光熱水費 20,620千円</li> <li>修繕・消耗品費等 2,522千円</li> <li>委託料 (施設管理) 7,211千円</li> <li>負担金・公租公課 270千円</li> <li>その他 4,428千円</li> </ul>

4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	<p>日頃ご利用いただいているお客様より利用時の不満や満足する部分など回収できるようにご意見箱を常時設置している。いただいたご意見には即時対応しながら施設・設備を快適に利用いただけるよう努めている。しかし本年は津山市へご意見を直接いただくことがあり、お客様の聞こえない声を傾聴できるよう運営スタッフ一同、精進いたします。</p>
-----------------	--

	<p>自主事業で実施しているこども水泳教室では、体験時に施設の雰囲気や指導法についてアンケートを実施し、いただいたご意見を事業運営に反映できるように心がけた。</p>
(2) 指定管理者の自己評価	<p>コロナ禍の中、「安心・安全」を第一にした運営を行うよう努めた。結果、平成30年度以来の5万人超の利用者を迎えることができた。しかし、7月末に施設を臨時休館せざるをえなくなったことは、まだ改善しなくてはいけない点である。今後、広報誌への折り込み・招待券の配布・SNSの活用等により更なる利用者の増加を図りたい。</p> <p>また、遠方からの利用者の増加する夏季運営では、地元業者とコラボし、利用されるお客様に作州津山の認知度を高め、今以上に愛される施設づくりを行っていく。</p>
(3) 市の評価	<p>収支については、前年度を大きく上回る収益が計上されている。これは、新型コロナウイルス対策の制限緩和により、利用料金や自主事業の収入が回復したことに加え、業務の効率化、経費の削減に努力した結果であると考えられる。</p> <p>施設・設備の維持管理については、利用者の安心・安全への配慮を第一に考え、迅速かつ的確な修理・修繕が施されており、老朽施設ながらも快適な環境づくりに繋がっている。</p> <p>施設の運営については、常に利用者視点で独自の工夫を行い、質の高いサービスの提供と利用し易い運営がなされている。</p> <p>今後も、健康増進や水泳技術の向上などの面で利用者ニーズに即した企画に努め、プールの有効活用を図ってもらいたい。</p>